

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年5月23日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから5月23日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明いたします。

まず、あしたの委員会定例会の議題は6つあります。

まず、1つ目が、伊方3号機の設置変更許可、標準応答スペクトルの件ということで、これは4月11日の委員会で審査書案が了承されて、関係行政機関の意見を聞いていたところですが、特に意見もなかったため、今回、許可をするというものになります。

議題の2つ目が、JAEAの大洗研究所の高速実験炉原子炉施設と書いてありますが、これは常陽ですが、その審査結果の取りまとめということです。

これは、常陽について新規制基準適合の審査を続けてきましたけれども、今回、審査書の案を諮るということになります。了承されればパブリックコメントを行って、関係行政機関の意見を聞いて許可というような流れになります。

研究炉の新規制基準の許可は、常陽で今ある研究炉のものは最後ということになっています。

次が、議題の3つ目、令和4年度原子力規制委員会年次報告ということで、これは毎年この時期に報告している白書のようなものでありますけれども、昨年度の委員会の活動を報告するというものになります。

今回、委員会に決定を諮りまして、その後、6月上旬頃に閣議に報告というような予定になっています。

次が、議題の4つ目ですが、令和4年度の検査結果及び総合的な評定と令和5年度の検査計画です。

これは、昨年1年間をまとめた検査結果とサイトごとの総合的な評定というものを、毎年、これもこの時期にやっているもので、あとは今年度の検査計画の了承を受けるということになります。

次が、議題の5つ目ですが、東京電力福島第一原子力発電所の1号機ペDESTALと補機冷却系配管の状況を踏まえた今後の対応ということです。

これは、4月25日と5月10日の委員会で、委員長が発言されていたものを受けてという

ことになりますけれども、1号機のペDESTALの鉄筋がむき出しになっているという件と、補機冷却系の配管から放射性物質が漏えいする可能性があるという件について、今後の対応を諮るというものであります。

ペDESTALについては、支持機能には期待できないという前提で、敷地外へのダスト飛散などの対策を検討するように東京電力に求めるという方針が諮られます。

議題の6つ目ですけれども、ALPS（多核種除去設備）処理水の海洋放出に関連する検査の状況ということで、ALPS処理水の海洋放出に関しては、昨年7月と今年2月に認可が行われまして、認可手続としてはこれで終了してはいますけれども、今、検査を現地で行っていますので、その検査の状況を報告するというものになります。

次が、3ページ目ですけれども、5月29日の（10）輸送・貯蔵の容器に関する審査会合です。

議題は、三菱重工の型式指定ということで、前回、4月17日の審査会合がありまして、申請の補正が出てきましたので、今回、その確認をして終わりという見込みになっています。

次が、5月29日の（11）核燃料施設等の審査会合です。

議題は1つで、原子燃料工業の熊取事業所の保安規定ということで、これも、前回、3月9日の会合を受けて申請の補正が出てきましたので、今回、その確認をして、会合としてはこれで終わりという見込みになっています。

こちらからは以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—